船舶事故調査報告書

平成21年9月17日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員長 後藤 昇 弘
 委員 楠 木 行 雄
 委員 横 山 鐵 男（部会長）
 委員 山 本 哲 也
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年12月10日13時10分ごろ船長が発見された。）
発生場所	不明（船長及び本船が発見された場所は、熊本県上天草市龍ヶ岳町楠森島東方、唐網代鼻灯台から真方位272° 2,500m付近（概位 北緯32° 22.7′ 東経130° 19.7′）であった。）
事故調査の経過	平成20年12月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 泰丸、1.08トン KM3-25225（漁船登録番号）、個人所有 5.65m(Lr)×1.57m×0.63m、木製 ディーゼル機関、漁船法馬力数25、昭和54年10月15日
乗組員等に関する情報	船長 男性 81歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和51年5月7日 免許証交付日 平成20年7月30日 (平成26年7月6日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年12月10日08時10分ごろ、船長1人が乗り組み、釣りの目的で、熊本県上天草市龍ヶ岳町大道漁港を出港した。 13時10分ごろ、同町楠森島東方にあたる、唐網代鼻灯台から真方位272° 2,500m付近で、救命胴衣を着用していない状態で海面に浮いている船長を水産関係者が発見し、海上保安庁へ通報した。船長は三角港へ搬送され、検死の結果、溺死と検案された。 本船は、船長発見場所付近の養殖筏に係留されていたが、衝突痕などはなかった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東～南東、風力 1～2 海象：平穏
その他の事項	船長は元漁師で、天気の良い日の3日に1回くらいの割合で釣りに行っており、泳ぐことはでき、体調はいつもと同じであった。 本船には救命胴衣が備えてあったが、船長は着用していなかった。

	船長に外傷はなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし なし 死因は溺死であった。 船長は、救命胴衣を着用せずに落水して溺死した可能性があると考えられるが、その前提状況が不明のため、事故の原因を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、熊本県上天草市龍ヶ岳町楠森島東方において係留中、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられるが、その前提状況が不明のため、事故の原因を明らかにすることはできなかった。	